



since 1926

自分が好き 友だちが好き このまちが好き

横浜市立下野谷小学校

# 学校だより

8・9 月号

令和2年8月21日

## 高学年が導く下野谷小学校

校長

高橋 義成

「校長先生！ 休み時間を延ばすことはできませんか？」

現在5年生の女子数名が尋ねてきました。令和2年2月ごろの話です。「そうしてあげたいけど、今は、時間通りに教室に戻らない子がたくさんいるよね。5分延ばしてそれが変わらないならば、休み時間を延ばすことは難しいな。」と伝えました。この子たちだけで全校の課題を解決していくことはあまりにも酷です。この願いを自分たちの課題として、いつか乗り越えさせてあげたいと胸に刻みました。

同じ頃、教職員は、年度の反省と次年度の新たな取組について話し合っていました。子どもたちは、休み時間にたくさん遊ぶことで気持ちを発散させている反面、雨天時は内遊びとなり、多くの怪我やトラブルが起きていました。また、現5年生を除いて体力が市平均よりも下回っている実態がありました。そして、何よりも子どもたちは休み時間を楽しみにしています。休み時間の過ごし方が重要であると教職員も考えていました。そこで、新6年生にも聞いてみました。

「休み時間を増やすことは賛成？」  
「全校の子どもたちに（下級生にとっても）  
よいことかな？」

校長

「1年生にとって初めて広い校庭で遊ぶことができるので、たくさんの子が遊べるとよいです。」

6年生の子どもたち

何人もの6年生に尋ねましたが、だれもが下級生の気持ちを想像して答えているのが印象的でした。

一斉登校が始まった7月1日。テレビ朝会で全校児童に提案しました。

- ・今日から中休みを5分、水曜日の昼休みは10分延ばすこと。
- ・守ってほしいルール

- ①廊下を歩くこと
- ②ボールは手で持って移動すること
- ③終わりの時刻を守ること

合言葉「歩きます ボールはもって 時計見て」

「よい合言葉を思いついた子は、校長先生に伝えに来てください。」

すると、たくさんの子が「合言葉思いついたよ！」と目を輝かせて校長室を訪ねてくれました。副校長はそのすべてを画用紙に毛筆で書き、廊下や階段に掲示していました。

中休み。6年生が、廊下を歩くように声をかけています。5年生は休み時間の終わりの時刻を確かめて遊びを止め、教室に戻りながら、まだ遊んでいる子たちに「教室に戻るよ！」と声をかけています。

あれから2か月が経ちますが、みんな廊下をボールを手を持って歩いています。高学年の子どもたちが手本となり、正しい行動が全校に広がっていきました。加えて、内遊びのために、各クラスにトランプなどのカードゲームを配当したところ、男女仲良く遊んでいる姿をよく見かけます。

この5・6年生が、委員会活動でどんな活躍を見せてくれるのか、今からとても楽しみです。自分たちの行動で学校を変え、よい伝統を作り出すことができることを、身をもって経験し、学校の顔になってほしいと願っています。